

愛出<sup>い</sup>ずる者は愛返<sup>い</sup>り  
福住<sup>ゆ</sup>くものは福来<sup>きた</sup>る

賈<sup>か</sup>誼<sup>ぎ</sup>

裏面もご覧ください。

神社は心のふるさと  
未来に受け継<sup>うるわ</sup>ごう「美しい国ぶり」

人を愛すれば、  
人もまた自分を愛し、  
善行をすれば、  
幸福がやってくる。

『新書』

賈誼

中国前漢時代の政治思想家・文章家。文帝のとき、年少でありながら諸家の書に通じ文章に優れていることから博士に抜擢され、さらに太中大夫を授けられる。儒教と五行説に基づく制度を献議したが中傷により左遷。のちに再び信任され、梁懐王の太傅となり国防政策等を上奏した。著作『新書』が伝わる。

神道知識の誘<sup>いざな</sup>ひ「新嘗<sup>にい ながめ さい</sup>祭」

「新」は新穀を、「嘗」はご馳走を意味します。毎年十一月二十三日、天皇陛下が神嘉殿において御親らご栽培になった新穀を皇祖はじめ神々にお供えになり、神恩を感謝された後、陛下御親らも新穀を召し上がります。新嘗祭は、五穀の豊穰を祈願した二月の祈年祭と相對する関係にあり、新穀を得たことを神さまに感謝するお祭りとして全国の神社で行われます。新嘗祭の起源は古く、『古事記』にも天照大御神が新嘗祭を行ったことが記されています。

東京都神社庁

<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp>

